

# 守山まるごと活性化プラン検討委員会 学区別会議 ニュースレター

## 第 3 回 学区別会議 [河西学区]

平成 25 年 8 月 28 日（水）午後 7 時から河西会館において、守山まるごと活性化プラン検討委員会の第 3 回学区別会議を開催しました。

河西学区にお住まいの住民 25 名に、滋賀県立大学の濱崎先生や学生さんも加わり、まず、前回会議で出された意見について、大きな見落としがないかなどふりかえりをしました。次に、学区のまちづくりを進めていく上での課題や方向性について話し合い、最後に参加者同士で共有しました。

### 学区別会議の様子

#### ■当日のプログラム

- ①挨拶：高野学区長より
- ②内容説明：会議当日のプログラム内容、第 2 回検討結果の説明
- ③テーブルに分かれて意見交換：『前回会議のふりかえり』、  
『学区のまちづくりの課題と方向』
- ④結果の発表・共有：テーブル毎で話し合った内容を発表して共有



▲結果を発表してみんなで共有

### テーブル毎に河西学区の『まちづくりの課題と方向』について話し合いました

- 5つのテーブルに分かれ、前回会議で出された河西学区の『良いところ』や『たからもの』の確認を行い、さらに、それらの特徴をもとに、『学区のまちづくりの課題』を話し合いました。
- 『たからもの』としては、「秋の集い、住民の集い」「キジ、アライグマ、たぬき、ハリオ、花畑、菜の花、あじさい、コスモス」「旧堤防、湧水」などの追加がありました。また、『たからもの地図』については、神事は農業の豊穰等を願うものが多いことから、「神社仏閣」と「地域の特色ある農業」の関係性を追加をしました。
- 『まちづくりの課題』については、「少子高齢化・人口減少が進み、地域間でバランスが崩れている」「妙蓮や遺跡等の『たからもの』の活用・保全が不十分」「地域活動や行事の担い手・人材が不足」「新旧住民・世代間の交流が希薄化」という内容が多く上げられました。
- 『今後のまちづくりの方向性』としては、「近江妙蓮を活用したはす祭りイベントの実施」「遺跡のまちとして遺跡をPR」「担い手不足解消のために、行事や自治会活動の負担を減らす」など、今後のまちづくりのヒントになるような意見が出されました。



#### ■滋賀県立大学 濱崎先生のコメント

高齢化がここまで課題として上がってくると思わなかった。湖北の限界集落のように空や家率が5割を越えると、高齢化どころの話ではなく、地域で空き民家をどう活かすかという取り組みを検討し始めている。

河西学区でも高齢化が大きな課題ということであるが、みなさん前向きに今後自分たちで何ができるかを検討されている。今後の活性化の議論にどのように結びついていくのか楽しみにしている。